

第2章 パネル調査結果

2-1 調査設計

2-1-1 調査対象者抽出方法

アンケート票を用いた、郵送発送、郵送回収による調査。犯罪被害者団体及び犯罪被害者支援団体を通じて本調査の対象となる犯罪被害者又はその家族若しくは遺族を有意抽出した。

2-1-2 調査方法

被害者のプライバシー保護及び安全確保、二次的被害防止の観点から、個々の被害者への調査依頼及び調査票配布については、任意の被害者団体、被害者支援団体及び自助グループ等の担当者を通じて行われた。具体的には以下の通りである。

本年度の調査は、平成19年度調査の回答者に対して、平成19年度と同様の手順をもって調査票を送付し、回収したものである。

すなわち、平成19年度調査では、任意の被害者団体、被害者支援団体及び自助グループに対し、調査実施事務局から文書等で調査協力依頼を行い、協力を承諾した団体に対して任意の数ずつ調査票を送付した。団体の担当者は、団体が把握している被害者等へ調査の説明を行った上で調査票を配布した。調査票に回答した被害者等は、調査票を調査実施事務局に直接返送した。

また、調査票には番号が振ってあり、調査票の番号とそれを配布した被害者等との対応は各団体が管理している。内閣府では番号と対象者との対応は把握せず、返送された調査票の番号のみを管理することで、対象者の個人情報とは団体等の外には広まらない形となる。

本年度調査は、平成19年度と同様の方法で、団体を通じて平成19年度調査で回答があった被害者等に対して調査票を送付した。

2-1-3 調査期間

平成21年11月24日（月）～同年12月25日（金）

2-1-4 回収結果

発送数：186

回収数：116

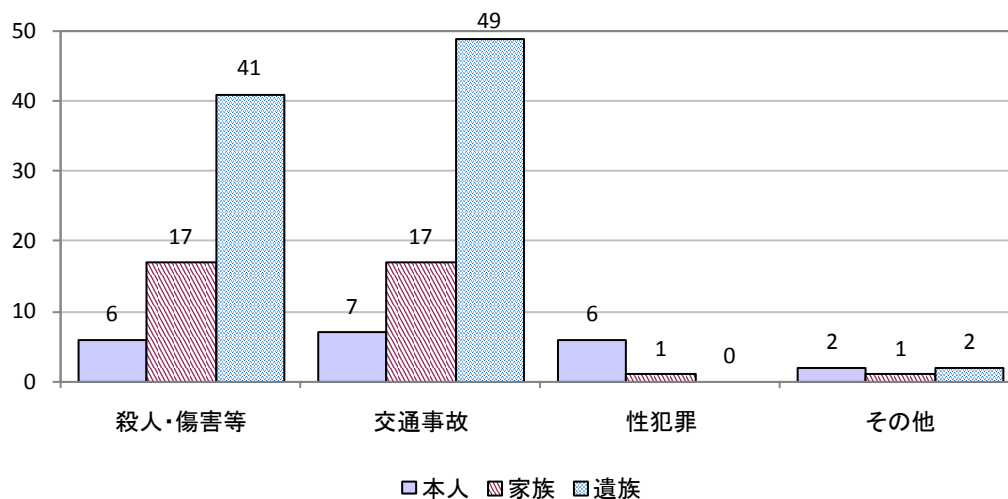
有効回答数：115

有効回答率：61.8%

図表 2-1 類型別構成

合計	殺人・傷害等			交通事故			性犯罪			その他						
	本人	家族	遺族	本人	家族	遺族	本人	家族	遺族	本人	家族	遺族				
115	50	6	17	41	53	7	17	49	8	6	1	0	4	2	1	2

(数字は質問に回答した数)



- ※ 複数回答のため、被害類型の回答者数と、被害類型内の「本人」、「家族」及び「遺族」の合計値は一致しない。
- ※ 性犯罪の回答者8名のうち、1名が、被害者との関係（「本人」、「家族」、「遺族」）を問う質問に無回答であったため、性犯罪の回答者数と被害類型内の「本人」、「家族」及び「遺族」の合計値は一致しない。